

# 運転管理

安定的にごみを処理します。

## 中央制御室

ごみ処理状況を24時間、運転、管理しています。刻々と変化する運転データを収集し、コンピュータ制御により最適な運転状態を維持します。



# 溶融・資源化

ごみは資源として生まれ変わります。

# ごみの受入れ

家庭から出されたごみを受入れます。



C

## ごみピット

プラットホームより投入されたごみを一時貯留するためのピットです。



D

## ごみクレーン運転室

ごみをごみクレーンにて攪拌した後、溶融炉に装入します。一度に2.4tのごみをつかむことができます。自動運転も可能です。



A

## 計量機

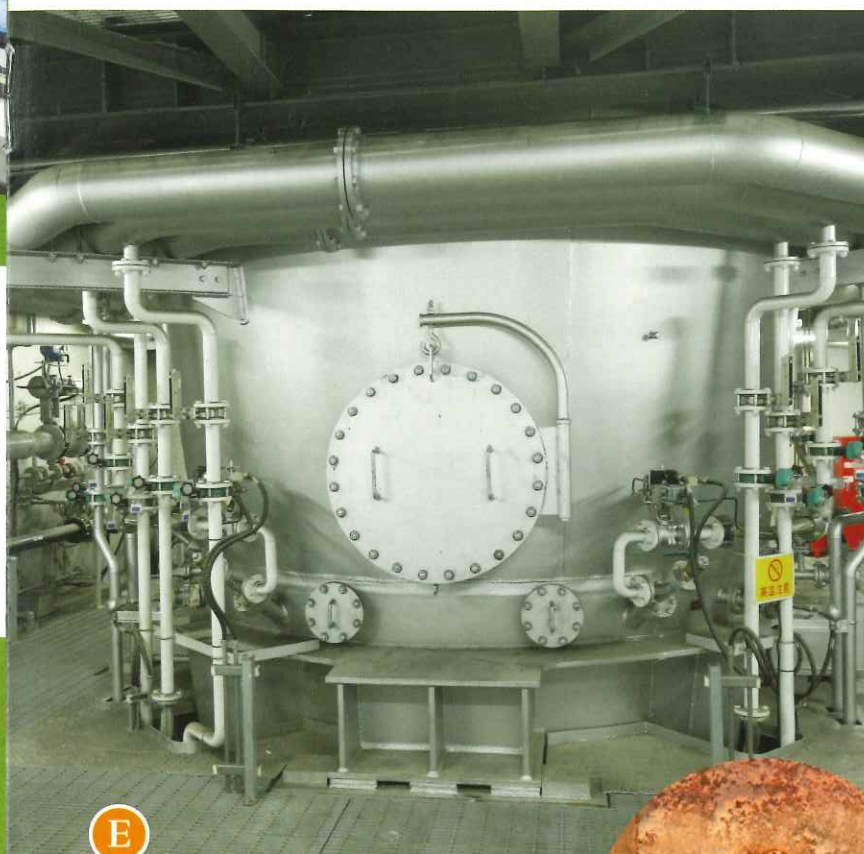
収集されたごみを入場時に計量、記録しています。



B

## プラットホーム

ごみ収集車は計量機で計量後、プラットホームに入場し、投入扉からピットにごみを投入します。



E

## 溶融炉

炉内に投入したごみは、1700℃～1800℃で高温溶融されます。溶融された溶融物は、出湯口より溶けた状態で流れ出てきます。発生する熱分解ガスは、燃焼室へ送られます。



F

## 出湯状況

溶融炉下部の出湯口から、1時間に約1回、溶融物を出湯します。



G

## 水砕ピット

溶融炉直下に位置し、出湯した溶融物を急速に冷却します。冷却により固化した溶融物は、コンベヤにて磁選機へ送られます。

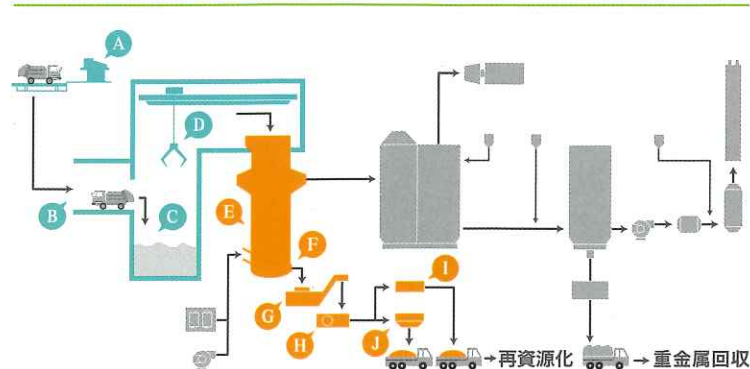


H

## 磁選機

溶融物を磁力により、スラグとメタルに分別します。

## PROCESS FLOW



I

## スラグ・メタル

溶融炉で処理されたごみは、高温溶融状態の間欠出湯、急速冷却、磁選という工程を経て、全量再資源化可能なスラグとメタルに生まれ変わります。

J